

5. 宮城県のとんかん診療領域連携事業

「東北大学病院てんかんセンターにおける活動の概要」

東北大学病院てんかんセンター 中里 信和

【まとめ】

東北大学病院てんかんセンターでは、総合大学としての特徴を活かし、大学病院であればその活動に重点を置いている。とくに、高度な包括的てんかん診療と、外部施設との連携による遠隔てんかん教育、多職種・多業種の人材育成、さらには社会活動としての広報活などである。具体的な活動の概要を示すべく、2020年度の年間活動の経過・予定について、以下、表として掲載する。

【2020年度てんかん診療医療連携拠点協議会委員名簿】

	氏名	職業(役職)
委員長	中里 信和	東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 教授(日本てんかん学会専門医・指導医, 日本脳神経外科学会専門医)
委員	富永 悌二	東北大学病院長 東北大学大学院医学系研究科神経外科学分野 教授(日本脳神経外科学会専門医)
同	富田 博秋	東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野 教授(日本精神神経学会専門医)
同	青木 正志	東北大学大学院医学系研究科神経内科学分野 教授(日本神経学会専門医)
同	呉 繁夫	東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野 教授(日本小児科学会専門医)
同	小川 舞美	東北大学病院てんかん科(公認心理師)
同	高橋 哲也	東北大学病院地域医療連携課 課長補佐
同	大竹 茜	東北大学病院地域医療連携センター 主任社会福祉士(社会福祉士, 精神保健福祉士)
同	本庄谷 奈央	東北大学病院地域医療連携センター てんかん診療支援コーディネーター(精神保健福祉士)
同	上埜 高志	東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科 教授(精神保健指定医, 日本精神神経学会専門医・指導医)
同	萩野谷 和裕	宮城県立こども病院 副院長(日本てんかん学会専門医・指導医, 日本小児神経学会専門医)
同	北村 太郎	仙台市立病院小児科 医長(日本小児神経学会専門医, 日本小児科学会専門医・指導医)

同	角藤 芳久	宮城県立精神医療センター 院長(精神保健指定医, 日本医学放射線学会専門医)
同	松野 あやえ	宮城県保健福祉部精神保健推進室 室長
同	高橋 みね	宮城県保健福祉部精神保健推進室 技術補佐(精神保健推進班長)
同	小原 聡子	宮城県精神保健福祉センター 所長
同	小林 和恵	仙台市保健所宮城野支所 障害高齢課 地域支援係長
同	萩原 せつ子	日本てんかん協会宮城県支部 事務局長(てんかん患者の家族)

【年間の代表的活動】

開催日	対象者	研修内容
令和2年6月3日	東北大学工学部大学院講義「工学と生命の倫理」	録画による講義 東北大学大学院工学系研究科の修士課程1年の大学院生を対象として、中里信和教授の講義「知って知らない『てんかん』」
令和2年8月1日	第114回東北大学てんかん症例検討会	Web開催) 難治性てんかん症例の入院精査結果に基づいた包括的症例検討会. 遠隔会議システムを用いて全国各地の専門施設からの参加有り.
令和2年9月12日	第115回東北大学てんかん症例検討会	Web開催) 難治性てんかん症例の入院精査結果に基づいた包括的症例検討会. 遠隔会議システムを用いて全国各地の専門施設からの参加有り.
令和2年10月3日	第116回東北大学てんかん症例検討会	Web開催) 難治性てんかん症例の入院精査結果に基づいた包括的症例検討会. 遠隔会議システムを用いて全国各地の専門施設からの参加有り.
令和2年10月22日	宮城学院女子大学の養護教員養成課程	Web講義) 中里信和教授による「てんかんの基礎知識」に関する講義
令和2年11月21日	第117回東北大学てんかん症例検討会	Web開催) 難治性てんかん症例の入院精査結果に基づいた包括的症例検討会. 遠隔会議システムを用いて全国各地の専門施設からの参加有り.

令和2年 11月21日	てんかん包括医療 東北研究会	Web開催) てんかん診療に関わる東北地区の医師・医療関係者を対象として、国立精神・神経医療研究センター脳神経外科の岩崎真樹部長の特別講演を予定。
令和2年 12月12日	全国てんかんリハビリテーション研究会	Web開催) 年1回の学術大会で、今回は東北大学てんかん科が主管で開催。対象はてんかん関連の多職種で、中里信和教授の講演「診療報酬改訂と持続可能てんかんリハ」も含む招待講演と一般演題。
令和2年 12月19日	第118回東北大学 てんかん症例検討会	Web開催) 難治性てんかん症例の入院精査結果に基づいた包括的症例検討会。遠隔会議システムを用いて全国各地の専門施設からの参加有り。
令和3年1 月9日	第119回東北大学 てんかん症例検討会	難治性てんかん症例の入院精査結果に基づいた包括的症例検討会。遠隔会議システムを用いて全国各地の専門施設からの参加有り。
令和3年1 月9日	東北てんかんフォーラム	Web講義) てんかん診療に関わる東北地方の医師および医療関係者を対象として、谷口豪先生(国立精神・神経医療研究センター精神科)の特別講演。
令和3年1 月16日	眼科医向け講演会	宮城県内の眼科医を対象とした講演会で、中里信和教授が「遠隔医療の多様性と将来性～大学病院てんかん科の事例より～」と題した講演。
令和3年2 月6日	第120回東北大学 てんかん症例検討会	難治性てんかん症例の入院精査結果に基づいた包括的症例検討会。遠隔会議システムを用いて全国各地の専門施設からの参加有り。
令和3年2 月8日	気仙沼医師会講演会	Web講義) 気仙沼地域の医師や医療従事者を対象に、中里信和教授が、てんかん専門外来を中心に、遠隔医療の最新的话题を講演。
令和3年3 月6日	第121回東北大学 てんかん症例検討会	難治性てんかん症例の入院精査結果に基づいた包括的症例検討会。遠隔会議システムを用いて全国各地の専門施設からの参加有り。
令和3年3 月20日	パープルデー宮城 オンラインイベント	てんかん啓発を目的としたFMラジオ放送とソーシャルメディア(Twitter)を組み合わせたオンラインイベントの開催。

【クラウドファンディングによる啓発ラジオ番組の提供】

ラジオ番組「知って安心、てんかん」で社会の誤解を減らしたい！

 東北大学病院



寄附総額

1,874,000円

目標金額 900,000円

募集終了日

2020年4月30日

219人が寄附しました

プロジェクトは成立しました！

終了報告を読む

[シェア](#) [ツイート](#) [LINEで送る](#) [閉じる](#)

プロジェクトの相談をする

プロジェクト概要

新着情報 10

応援コメント 219

●プロジェクト終了報告（2020年10月13日）

この度は、東北大学病院クラウドファンディングプロジェクト“ラジオ番組「知って安心、てんかん」で社会の誤解を減らしたい！”に多大なご支援と応援を頂きまして、誠にありがとうございます。

不安の中で迎えた募金初日でしたが、開始早々、わずか12時間23分という短時間で目標の金額を達成することができました。ご寄付はさらに増え、最終的には目標金額の2倍を超える支援を頂戴することができました。

頂戴した募金の額もさることながら、皆様からの多数の応援メッセージにも感激いたしました。てんかんへの社会の誤解を減らしたいという私たちの企画に共感していただいた方の多さに、あらためて気づかされた次第です。

おかげさまで、いただいた募金を使わせていただき、ラジオ番組「知って安心、てんかん」におきましては、当初予定の10回分の収録が完了し、現在、下記のようにFirst Seasonとしての放送が続いております。また2021年1月からは、目標額を超えた募金を使わせていただいて、Second Seasonの放送も計画されております。

今回いただいた皆様からの篤いご支援と応援は、今回のラジオ番組に限らず、またてんかんという疾患の啓発活動に限らず、今後の東北大学病院の社会活動全体にとっても大きな意味をもつものです。本当に有り難うございました。末筆ながら、皆様の今後のご健勝とますますのご発展をお祈り申し上げます。

●いただいたご支援によるラジオ番組「知って安心、てんかん」を、以下の First Season（収録完了にて、現在放送中）と、2021年1月に開始予定の Second Season（計画中）にわけて実施しています。ラジオ番組は東北大学医学部・医学研究科のホームページで随時、聴くことができます（アーカイブ：東北大学大学院医学系研究科・医学部 動画配信サイト：<https://www.med.tohoku.ac.jp/mov/press/index.html>）。

★Season I

◆放送期間：2020年8月5日（水）～2020年10月7日（水）

◆放送日時：毎週水曜日 午前10:00～10:05 Morning Burush 内

◆放送局：エフエム仙台

◆放送内容・出演者：

第1回 「てんかんとは？」 中里信和 教授（東北大学病院てんかん科）

第2回 「成人のてんかん発作」 神一敬 准教授（東北大学病院てんかん科）

第3回 「子供のてんかん発作」 植松貢 准教授（東北大学病院小児科）

第4回 「てんかんの検査」 柿坂庸介 講師（東北大学病院てんかん科）

第5回 「てんかんの薬物治療」 上利大 助手（東北大学病院てんかん科）

第6回 「てんかんの外科治療」 大沢伸一郎 助教（東北大学病院 脳神経外科）

第7回 「てんかんと学校」 萩野谷和裕 副院長（宮城県立こども病院 小児科）

第8回 「てんかんと就労」 小川舞美 公認心理師（東北大学病院てんかん科）

第9回 「高齢者のてんかん」 神一敬 准教授（東北大学病院てんかん科）

第10回 「てんかんと共に生きる」 中里信和 教授（東北大学病院てんかん科）

★Season II：てんかんへの疑問・質問にお答えします！

◆放送期間：2021年1月6日（水）～2021年3月10日（水）毎週水曜日 午前10:00～10:05

◆放送局：エフエム仙台

◆番組名：Date fm Morning Brush 内

◆放送内容・出演者：

第1回 2021年1月6日 てんかんとは何か？「おさらい篇」

中里 信和（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 教授）

小川 舞美（東北大学大学病院てんかん科 公認心理師）

第2回 2021年1月13日 てんかんを持つ当事者からの疑問

小川 舞美（東北大学大学病院てんかん科 公認心理師）

中里 信和（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 教授）

第3回 2021年1月20日 てんかんを持つ家族からの疑問

萩原 せつ子（日本てんかん協会宮城県支部）

中里 信和（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 教授）

- 第4回 2021年1月27日 教員からのてんかんの疑問
小川 舞美（東北大学大学病院てんかん科 公認心理師）
中里 信和（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 教授）
- 第5回 2021年2月3日 相談支援員からのてんかんの疑問
長岡 麻人（アビリティーズジャスコ株式会社就労支援事業部 部長代行）
中里 信和（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 教授）
- 第6回 2021年2月10日 患者も知っておくべき「医師の疑問（その1）」
神 一敬（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 准教授）
中里 信和（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 教授）
- 第7回 2021年2月17日 患者も知っておくべき「医師の疑問（その2）」
福興 なおみ（東北医科薬科大学病院 小児科）
中里 信和（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 教授）
- 第8回 2021年2月24日 患者も知っておくべき「医師の疑問（その3）」
中里 信和（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 教授）
- 第9回 2021年3月3日 患者も知っておくべき「医師の疑問（その4）」
神 一敬（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 准教授）
小川 舞美（東北大学大学病院てんかん科 公認心理師）
中里 信和（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 教授）
- 第10回 2021年3月10日 「知って安心、てんかん」
中里 信和（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 教授）
小川 舞美（東北大学大学病院てんかん科 公認心理師）

【発表論文（2020年度）】

- 1) Itabashi I, Jin K, Sato S, Suzuki H, Iwasaki M, Kitazawa Y, Kakisaka Y, Nakasato N: Initial delta and delayed theta/alpha pattern in the temporal region on ictal EEG suggests purely hippocampal epileptogenicity in patients with mesial temporal lobe epilepsy. Clin Neurophysiol, in press
(doi:<https://doi.org/10.1016/j.clinph.2020.11.041>)
- 2) Gabriel F, Kakisaka Y, Jin K, Osawa SI, Iwasaki M, Tominaga T, Nakasato N: External validation of the Epilepsy Surgery Grading Scale in a Japanese cohort of patients with epilepsy. Epileptic Disord, in press
- 3) Nomura Y, Kawase T, Kanno A, Nakasato N, Kawashima R, Katori Y: N100m latency shortening caused by selective attention. Brain Res 1751: 147177, 2021
(doi:<https://doi.org/10.1016/j.brainres.2020.147177>)
- 4) Ishida M, Jin K, Kakisaka Y, Kanno A, Kawashima R, Nakasato N. Awake state-specific suppression of primary somatosensory evoked response correlated with

- duration of temporal lobe epilepsy. *Sci Rep* 10:15895, 2020 (DOI: 10.1038/s41598-020-73051-x)
- 5) Ishikawa T, Obara T, Jin K, Nishigori H, Miyakoda K, Akazawa M, Nakasato N, Yaegashi N, Kuriyama S, Mano N: Folic acid prescribed to prenatal and postpartum women who are also prescribed antiepileptic drugs in Japan: Data from a health administrative database. *Birth Defects Res*, 2020 (doi: 10.1002/bdr2.1748)
 - 6) Chonan M, Saito R, Kanamori M, Osawa SI, Watanabe M, Suzuki H, Nakasato N, Tominaga T: Experience of low dose perampanel to add-on in glioma patients with levetiracetam-uncontrollable epilepsy. *Neurol Med Chirurgica* 60: 37-44, 2020 (DOI: 10.2176/nmc.oa.2018-0245)
 - 7) Hihara H, Kanetaka H, Kanno A, Simada E, Koeda S, Kawashima R, Nakasato N, Sasaki K: Somatosensory evoked magnetic fields of periodontal mechanoreceptors. *Heliyon* 6: e03244, 2020 (DOI: 10.1016/j.heliyon.2020.e03244)
 - 8) Fujimori J, Ogawa R, Murata T, Jin K, Yazawa Y, Nakashima I. Unilateral chronic pulsatile headache as the single manifestation of anti-MOG antibody-associated unilateral cerebral cortical encephalitis. *J Neuroimmunol*, Online ahead of print, 2020 (PMID: 32682139)
 - 9) Togashi N, Fujita A, Shibuya M, Uneoka S, Miyabayashi T, Sato R, Okubo Y, Endo W, Inui T, Jin K, Matsumoto N, Haginoya K. Fifteen-year follow-up of a patient with a DHDDS variant with non-progressive early onset myoclonic tremor and rare generalized epilepsy. *Brain Dev* 42:696-699, 2020 (PMID: 32654954)
 - 10) Nakasato N, Kanno A, Ishida M, Osawa SI, Iwasaki M, Kakisaka Y, Jin K: Revision analysis of electroencephalography and magnetoencephalography based on comprehensive epilepsy conference. In Papanicolaou AC, Roberts TPL, Wheles W (Ed): *Fifty Years of Magnetoencephalography*. Oxford University Press, New York, 2020, pp 191-197
 - 11) 中里信和、柿坂庸介：オンライン診療における医療ネットワークの構築。今日の治療指針。pp. 1926-1927. 医学書院。2021
 - 12) 中里信和：オンライン診療の手引き「各論：てんかん」。今日の治療指針（電子版）。医学書院。2021
 - 13) 神一敬：長時間ビデオ脳波モニタリング検査。日本睡眠学会（編集）：睡眠学 第2版。朝倉書店。pp484-485, 2020
 - 14) 柿坂庸介，大沢伸一郎，成田徳雄，神一敬，富永悌二，中里信和：てんかん診療における遠隔外来と包括的入院精査の相補的利用。脳外速報 30: 1254-1261, 2020
 - 15) 神一敬：てんかん診療ガイドライン2018。精神医学 62: 720-725, 2020
 - 16) 神一敬：脳波所見の臨床的意義。永井良三（総編集）：今日の診断指針 第8版。医学書

- 院. pp177-184, 2020
- 17) 神一敬：てんかん診療ガイドライン 2018 ～改訂ポイントと最近の動向～. 鈴木則宏ら
(編集)：Annual Review 神経 2020. 中外医学社. pp333-340, 2020
 - 18) 神一敬, 板橋泉, 中村美輝, 中里信和：成人における睡眠中のてんかん発作. 臨床神経生
理学 48: 40-44, 2020
 - 19) 柿坂庸介, 神一敬, 大沢伸一郎, 中里信和：オンライン教育のプレゼンテーションにおけ
る残像効果のある「指マーカー機能」の有用性. 日本遠隔医療学会雑誌 16(2): 145-147,
2020
 - 20) 柿坂庸介, 大沢伸一郎, 成田徳雄, 神一敬, 富永悌二, 中里信和：てんかん診療における
遠隔外来と包括的入院精査の相補的利用. 脳外速報 30: 1254-1261, 2020
 - 21) 神一敬, 板橋泉, 中村美輝, 中里信和：成人における睡眠中のてんかん発作. 臨床神経生
理学 48: 40-44, 2020
 - 22) 中里信和：もっとねころんで読めるてんかん診療. メディカ出版, 大阪, 2020
